

Protokoll 2015-2-15

- "rechte/linke Gehirnhälfte"を「右脳/左脳」と訳するのは、一般的な演説である原文に対して堅すぎて、「脳の右半分/左半分」と訳したほうが解りやすい。
- "Null Emission"は「ゼロエミッション」でも通じる
- "Ladenhüte"とは店番をする、つまり売れない商品のことを示し、今回は「売れない車」と訳すのがよい。
- "Freiheit erfahren"は言葉のあやを含むが訳するのは難しく、「自由を体感」と訳せばよい。
- "Mercedes"は日本では「メルセデス」ではなく、「ベンツ」のほうが一般的な認知度が高い
- "Faszination Auto"は「車という魅力」と訳せばいいが、当部分においてギャグがあったが訳しづらかったため訳されなかったが、日本人の聴衆も笑えるような工夫をすることが好ましい。
- 原文には"Zitat"とあったが、文脈より"Brief"の事を指しているため「手紙」と訳すべき。
- "Aktionsradius"は「行動範囲/活動範囲」と訳すべき。
- "Autobestand"は「車両保有台数」
- "Wohlstand"は「豊かさ」
- "soziale Mobilität"は「個人的/社会的モビリティ」
- "Bruttosozialprodukt"は「GNP」
- "Bruttoinlandsprodukt"は「GDP」
- 単語に執着しすぎずに大まかな話の流れを正確に伝えるほうが大切。
- "Alltag"は日常生活
- 「～が現状です」はネガティブなイメージがある
- "der Erfinder des Automobils"は Daimler を指している。ドイツ語では同じものに同じ言葉を使うことは通常稚拙な文章と取られることが多いため同じものを言い換えて表現する。但し今回は Faszination という単語を文章を通じて敢えて繰り返すことにより構成要素としている。
- "soziale Aufsteiger"は「社会的な成功者」
- "Gesamtkunstwerk"は「総合芸術」
- "Auszeit"は「オフの時間」
- "Motor beat"は「エンジンのリズム/鼓動」
- "Mitarbeiter"は「社員/従業員」
- "Hammer"は「ヤバイ/スゴイ」